



福島県へ組合員の「ありがとう」届ける！

★ 新型コロナ感染症への対応にお役立てください ★

連合福島は、2021年度第7回執行委員会（2021.4.8開催）で確認した、新型コロナウイルス感染症対策への支援金を、福島県へ寄贈した。

贈呈式において今野会長より「コロナの課題は、社会や生活に様々な影響を与える中、コロナ対策の先頭に立ちご尽力いただいている福島県、さらに、医療従事者・関係者の皆様のご尽力に敬意を表します。

連合福島は、地域に根差した社会貢献活動の発展による、支え合い・助け合い運動の推進に向け、様々な取り組みを行っています。現在、新型コロナウイルス感染症の拡大により、医療の最前線で日々ご活躍を頂いている皆様への感謝を届けるため、DO・もーバッジプロジェクトに取り組んでいます。

震災から10年。これまで多くの皆さんからいただいた支援・励まし・勇気。この中で私たちが学んだことは「感謝」と「どうもありがとう」を伝えることです。

感染への不安や言われなき誹謗・中傷を危惧しながら、懸命に働く仲間がいます。安心して生活し働くことができる環境づくりに向け、連合福島7万8千人の思いとして、支援金を寄付させていただきますので、コロナ対策の一助となれば幸いです」と挨拶した。

内堀雅雄知事より「昨年に引き続き、連合福島の皆様からの多大なるご支援に感謝申し上げます。コロナ対応は多岐にわたり、支援対策が必要とされています。特に医療現場では、防護機材の調達や過酷な労働環境の改善に向け、引き続きの支援が必要とされていますので、有効に活用させていただきます。

コロナ対応は長期に渡っています。生活に欠かせないソーシャルディスタンスが、心の距離を広げることの無いよう、大切なことは連帯・絆であります。連合福島の皆様の思いを確りと受け止め、引き続きコロナ対策を講じていきたい」とご挨拶いただきました。



（左） 目録を贈呈する今野会長 （右） 内堀知事

『どうもありがとう』



連合福島は、「DO・もー」プロジェクトであなたの「ありがとう」届ける・伝える・広げる、取り組みを展開します。多くの皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。

